

2026年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会のご案内

公益社団法人日本栄養士会

〒105-0004

東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階

TEL:03-5425-6555 FAX:03-5425-6554

<https://www.dietitian.or.jp/>

* 日本栄養士会ホームページ おしらせ より
ログインしてご覧ください。

2026年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会 開催通知

2026年6月1日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会
代表理事会長 中村 丁次

公益社団法人日本栄養士会定時総会を公益社団法人日本栄養士会定款第18条第1項の規定に基づき、下記により開催いたしますので、注意事項をお含みのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 2026年 6月20日(土) 13:00～17:00
6月21日(日) 9:00～11:00

場 所 パシフィコ横浜 アネックスホール2F 「F201～F204」
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL 045-221-2155

構成員 代議員

総会議題

- 第1号議案 2025年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）および財産目録承認の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 監事選任の件
- 第4号議案 役員報酬承認の件
- 第5号議案 名誉会員承認の件
- 協議事項 2026年度事業執行計画、予算について

日 程

第1日 6月20日(土)

12:00～13:00 受 付

13:00～16:00 議 事

(13:00～13:20) 開 会
会長挨拶

議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・総会運営委員指名
総会成立宣言

(13:20～14:00) 第2号議案 理事選任の件（提案説明・選任決議）

(14:00～14:50) 第1号議案 2025年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）
および財産目録承認の件（提案説明）

- (14:50～15:00) 第3号議案 監事選任の件(提案説明・討論・採決)
 (15:00～15:10) 第4号議案 役員報酬承認の件(提案説明・討論・採決)
 (15:10～15:20) 第5号議案 名誉会員承認の件(提案説明・討論・採決)
 (15:20～15:50) 協議事項 2026年度事業執行計画、予算について(提案説明)
 (15:50～16:00) 第2号議案 理事選任の件(選任決議報告)
 16:00～17:00 特別講演 「管理栄養士・栄養士の可能性と期待
 —研究・政策・現場をつなぐ戦略と展開—
 国立保健医療科学院生涯健康研究部部长 清野 富久江
 18:00～20:00 情報交換会(パシフィコ横浜 アネックスホール2F「F205+F206」)

第2日 6月21日(日)

- 8:30～ 9:00 受 付
 9:00～ 9:20 総会式典
 9:20～11:00 議 事
 (9:20～10:00) 第1号議案 2025年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)
 および財産目録承認の件(討論・採決)
 (10:00～11:00) 協議事項 2026年度事業執行計画、予算について(討論)
 11:00 閉 会

【ご案内】

2026年1月にご逝去された藤澤良知元会長のお別れ会を、6月21日(日)11時15分より、パシフィコ横浜 アネックスホール2F「F205」にて執り行いますので、ご参列賜りますようご案内申し上げます。

【注意事項】

1. 上記議案の内容は「総会資料」(ホームページ「お知らせ」で閲覧できます。代議員の方へは別途郵送します。)をご覧ください。出欠につきましては、次によりご手配ください。
 - (1) 出席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出てください。
 - (2) 欠席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出るとともに、必ず委任状を提出してください。
 - (3) 都道府県栄養士会長は、所属代議員の出欠(①総会、②情報交換会、③お別れ会)を確認し、6月10日(水)までに日本栄養士会長に指定の様式にて届け出てください。欠席する代議員の委任状も併せて提出してください。
 - (4) 代議員以外の出席を希望する会員は、①所属都道府県栄養士会名、②会員番号、③氏名、④出欠(総会、情報交換会、お別れ会)を記載し、6月10日(水)までに日本栄養士会長にファクシミリ(03-5425-6554)またはメール(soumu-ka@dietitian.or.jp)にて申し出てください。
2. 総会出席者は、定刻までに受付を済ませて、総会会場にご着席ください。

公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

2026 年 6 月 1 日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 加部 駿平

2026 年 4 月 6 日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

2026 年 4 月 24 日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第 17 条第 1 項に基づき告示します。

1. 一般理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	原 純也	東京都	医療	
2	西村 一弘	東京都	医療	
3	本川 佳子	東京都	研究教育	
4	塚原 丘美	愛知県	研究教育	
5	加藤 すみ子	福島県	フリーランス・栄養関連企業等	
6	須永 将広	東京都	医療	
7	下浦 佳之	兵庫県	フリーランス・栄養関連企業等	
8	藤本 浩毅	大阪府	医療	
9	森 茂雄	愛知県	医療	
10	武藤 真紀	福島県	研究教育	
11	米山 久美子	東京都	フリーランス・栄養関連企業等	
12	富田 文代	滋賀県	福祉	
13	今村 佳代子	鹿児島県	研究教育	
14	西岡 心大	長崎県	研究教育	
15	阿部 絹子	群馬県	フリーランス・栄養関連企業等	
16	中村 丁次	神奈川県	研究教育	
17	宮島 功	高知県	医療	
18	修行 さやか	福岡県	福祉	

2. 職域理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	茂呂 (望月) ひとみ	東京都	フリーランス・栄養関連企業等	フリーランス・栄養関連企業等から推薦あり
2	元家 玲子	愛媛県	福祉	福祉から推薦あり
3	小林 道	北海道	研究教育	研究教育から推薦あり
4	宮崎 純一	群馬県	医療	医療から推薦あり
5	諸岡 歩	兵庫県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり
6	重田 玲子	愛知県	学校健康教育	学校県教育から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

2026 年 6 月 1 日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 加部 駿平

公益社団法人日本栄養士会定款第 21 条第 1 項、第 3 項および役員選任総会決議にかかる手続規程第 6 条から第 19 条までに基づき、総会会場にて理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

1. 一般理事選任決議分野候補者 18 名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
2. 職域理事選任決議分野候補者 6 名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

=====選 挙 公 報=====

◆各候補者から届出のあった事項を公報します。

(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

1. 一般理事選任決議分野候補者

2. 職域理事選任決議分野候補者

1. 一般理事選任決議分野候補者

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	はら じゅんや	性別	男	
		氏名	原 純也			(満 54 歳)		
		名称	武蔵野赤十字病院					
		勤務先	所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 TEL 0422-32-3111					
	所属都道府県 栄養士会	東京都	栄養士会	会員番号	0 1 3 0 2 8 3 3	所属職域	医療	
職歴	【職歴】 1992～1997年国内フードサービス（株） 1997～1999年多摩丘陵病院 1999～2001年国内フードサービス 2001～2012年多摩丘陵病院 2012年～武蔵野赤十字病院 2022～2026年 十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 非常勤講師（兼職） 2022～2025年駒沢女子大学 看護学部看護学科 非常勤講師（兼職） 2026年～ 文教大学 健康栄養学部 管理栄養学科 非常勤講師（兼務） 【会員歴】平成19年入会 【役員歴】 2008年～東京都栄養士会医療部会 役員 2010～2024年 東京都栄養士会 幹事 医療部会事業部長 2012年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 2014～2024年東京都栄養士会 理事（～28年事業部長） 2016～2018年 日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長 2018～2024年 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長（現 事業推進委員長）日本栄養士会 医療職域担当理事 2020～2024年 上記に加え常任理事（職域統括部長） 2024年～常任理事（総務部長） 【業績】 10年永年表彰							
立候補理由	平成30年度より医療事業推進委員長・医療職域担当理事と拝命し、令和2年度より職域統括部長として、現在の社会保障費制度を中心とし、職責を果たすべく仕事をまいりました。また令和6年度より総務部長として適正な予算作成すること、事業が適正に実施されることを中心に仕事をまいりました。日本の管理栄養士・栄養士の立ち位置として「経済財政運営と改革の基本方針2023」（骨太方針2023）において、「健康寿命を延伸し、高齢者の労働参加を拡大するためにも、健康づくり・予防・重症化予防を強化し、リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る」ことが示されました。このことは管理栄養士・栄養士が日本の栄養関連施策の中心となり、その役割をきちんと果たしていくことで、日本の経済が豊かになり、国民が「健康と幸せ」を獲得できると思っています。 そのため、管理栄養士・栄養士が所属する職能団体である日本栄養士会の組織力の強化がカギを握ると感じているところです。 しかし、現在は日本人の減少も伴って会員数を減ってきております。何とかこの動きに歯止めをかけ更に活気ある日本栄養士会を組織していくことが大変重要であると考え、昨年度は職域統括事業部と連携し、若い会員、そして非会員へのインタビューを実施いたしました。若い会員が日本栄養士会へのもつ帰属意識はどういったところにあるのか？非会員である管理栄養士・栄養士が日本栄養士会をどう捉え、どういったイメージであるかを聞くことができました。今期はこの取り組みを継続的に取り組むべく、会員増対策に更に尽力していく所存です。							

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	にしむら かずひろ	性別	男	
		氏名	西村 一弘			(満 65 歳)		
		名称	社会福祉法人緑風会緑風荘病院栄養室					
		勤務先	所在地 東京都東村山市萩山町3-31-1 TEL 042 - 392 - 1101					
	所属都道府県 栄養士会	東京都	栄養士会	会員番号	0 1 3 0 3 9 5 4	所属職域	医療	
職歴	【職歴】 1982年3月～現在社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 1996年4月～2015年3月老人保健施設グリーン・ボイス主任兼務 2003年9月～2005年3月東京家政学院大学非常勤講師兼務 2004年4月～2015年3月緑風会健康推進部主任兼務 2015年4月～2026年3月駒沢女子大学人間健康学部入職 2015年4月～現在社会福祉法人緑風会緑風荘病院栄養室運営顧問 2025年4月～現在華学園栄養専門学校非常勤講師 2026年4月～現在駒沢女子大学非常勤講師 2026年4月～現在神奈川工科大学非常勤講師 【会員歴】 1996～2026年日本栄養士会、東京都栄養士会 【役員歴】 役員歴（東京都栄養士会） 2005年～2026年 医療部会役員 2012年～2016年 医療事業部企画運営委員長 2012年～2026年 理事 2014年～2026年 代表理事会長 役員歴（日本栄養士会） 2006年～2008年 医療事業部幹事 2008年～2012年 同常任幹事 2012年～2016年 同副委員長 2008年～2020年 理事（京浜地区担当、栄養ケア・ステーション事業部副部長など） 2020年～2026年 常任理事（地域連携事業部長） 【業績】 2005年6月NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 2006年5月東京都栄養士会永年会員表彰 2008年11月東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 2015年10月東京都知事賞表彰							
立候補理由	私はこれまで9期18年間日本栄養士会の理事・常任理事として、厚生労働省の栄養ケア活動整備事業（よりそいプロジェクト、共食の場における配食サービス活用事業など）の運営委員や評価委員を行いました。東日本大震災の際は、被災地支援のために宮城県気仙沼市に1年間で5回現地での支援活動等に参加して、その後は現地で知り合った災害看護専門看護師で国際緊急援助隊の指導の下にJDA-DAT研修会の立ち上げも行いました。栄養ケア・ステーション副部長として、認定栄養ケア・ステーション制度の立ち上げにも積極的にかかわりました。また、診療報酬改定と診療報酬・介護報酬同時改定委員、令和3年度介護報酬改定データベースワーキング委員長などとしては、栄養士・管理栄養士の社会保障制度改定にも関わらせていただき、栄養関連加算の拡充や管理栄養士の評価の向上にも力を注いできました。その他、日本栄養士会教育センター立ち上げ準備会の委員、京浜地区担当理事なども歴任し、常任理事を拝命してからは地域連携事業部長として、全国の都道府県栄養士会の代表理事をはじめとする理事の皆様にもweb配信による地区会長会議の統一議題の丁寧な説明なども行い、これまでは全国7ブロックでばらばらに行われていた地区会長会議の運営なども、各地区の特徵に合わせた改正方法を尊重しつつも、一定のルールを持って開催する形となり、地区会長会議の充実を目指して、携わってまいりました。 近年の急速な超高齢社会において、限りある財源の中で管理栄養士・栄養士には、国民の健康長寿を支えるために多大な期待をされ、私も厚生労働省における高齢者の保健事業におけるあり方検討会、介護予防マニュアル改定会議、LIFEフィードバック検討会議、在宅医療・介護連携推進検討会議などの委員を拝命し、栄養士会を代表する意見を述べてきて頂いています。これまではこのような形で栄養士・管理栄養士の様々な制度作りや地位向上に向けた取り組みに携わらせていただきたもので、引き続き今後も栄養士・管理栄養士の地位向上と社会の中で栄養士・管理栄養士が活躍できる仕組みづくりに尽力したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。							

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	もとかわけいこ	性別	女	
		氏名	本川佳子			(満 42 歳)		
		名称	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所					
		勤務先	所在地	〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2				
		TEL	03-3964-3241 (内線4213)					
	所属都道府県 栄養士会	東京都	栄養士会	会員番号	1 0 0 0 6 2 2 6	所属職域	研究教育	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】	2006年管理栄養士取得。 2011年大学院修了後、急性期病院勤務を経て在宅栄養管理を行う。 2015年より東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム研究員（2025年より専門副部長）～現在に至る						
	【会員歴】	2017年4月～						
	【役員歴】	2018年～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション委員 2020年～2021年度 東京都栄養士会医療事業部幹事 2020年度～現在 東京都栄養士会理事 2023年度～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション部長						
	【業績】	研究分野：高齢者の栄養ケア等 受賞：第32回日本静脈経腸栄養学会、ACD2022 受賞 厚生労働科学研究費補助金研究代表2件 老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費補助金）研究代表6件						
		我が国では、2025年を迎えて高齢化の進行が、いよいよ現実のものとなり、医療と介護の連携強化、フレイル予防、地域での自立した生活の支援が、これまで以上に重要な課題となっています。こうした中で、高齢者を支えるうえで食事・栄養の視点は不可欠です。実際に、健康日本21（第三次）では低栄養傾向の高齢者の減少が目標として掲げられ、日本人の食事摂取基準（2025年版）でも高齢者のフレイルや骨粗鬆症を含む健康課題への対応が重視されています。さらに、高齢社会対策大綱（令和6年改定）においても、共食、食育、食品アクセス確保などを通じて高齢者の食支援の充実が示されており、食・栄養分野の役割は一層大きくなっています。 一方で、高齢者に対する具体的な栄養管理、とりわけ認知症高齢者への適切な栄養ケアについては、なお研究と実装の両面で発展途上にあります。認知機能低下を伴う高齢者では、低栄養だけでなく過栄養も含めて栄養の過不足が生じやすく、科学的知見に基づく支援の重要性は高まっています。最近では、認知機能低下リスクの低減を視野に入れた栄養ガイダンスや配食サービスに関する手引きも示され始めていますが、こうした知見を臨床・介護・地域支援の現場で標準的に活かしていく体制づくりは、まだ十分とは言えません。 私はこれまで、さまざまな委員等を拝命する中で、こうした政策と現場、研究と実践の間にあるギャップを埋めるため、栄養ケア・ステーション等を活用した研究事業や地域での栄養支援の仕組みづくりに取り組んでまいりました。栄養ケア・ステーションは、管理栄養士・栄養士が地域住民の日常生活の場で栄養ケアを提供する地域密着型の拠点であり、今後の地域包括ケアの中核を担う重要な基盤であると考えています。 さらに、理事に当選した際には、エビデンスに基づく提言を一層強化し、食・栄養の力を医療、介護、認知症施策、介護予防の各分野に確実に果たすにつれていくことを目標に、日本栄養士会の活動・事業に取り組んでまいります。						

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	つかはら たかよし	性別	男	
		氏名	塚原 丘美			(満 57 歳)		
		名称	名古屋学芸大学 管理栄養学部 管理栄養学科					
		勤務先	所在地	愛知県日進市岩崎町竹ノ山57				
		TEL	0561-75-2584					
	所属都道府県 栄養士会	愛知県	栄養士会	会員番号	0 2 3 1 0 3 2 6	所属職域	研究教育	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】	1995～2004年 山口大学医学部附属病院栄養管理室 管理栄養士 2004～2005年 名古屋学芸大学管理栄養学部 助手 2005～2010年 名古屋学芸大学管理栄養学部 講師 2009～2010年 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 講師 2010～2013年 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 兼 名古屋学芸大学管理栄養学部 准教授 2013年～現在 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 兼 名古屋学芸大学管理栄養学部 教授 2018年～現在 名古屋学芸大学管理栄養学部 学科長						
	【会員歴】	1995年4月～現在						
	【役員歴】	2024年～現在 理事、副会長						
	【業績】	実務経験を基盤に管理栄養士養成に従事し、教育・研究の両面から人材育成に取り組んできた。特に、栄養管理の質向上には実践研究の推進が不可欠であるとの考えのもと、研究ができる管理栄養士・栄養士の育成に注力している。これまでに養成課程教員として28冊の教科書を執筆し、うち15冊で編者を務めるとともに、社会人大学院生の指導、学会主催の実践栄養学研究セミナーの開催、各種講演などを通じて実務者の研究力向上と論文文化を支援してきた。現在、日本栄養改善学会理事長をはじめ複数の学会の理事を務め、学術と実践をつなぐ取り組みを推進している。						
		私は病院栄養士として9年間勤務した後、管理栄養士養成校の教員として教育・研究に携わってまいりました。これまでの理事としての2年間は、実践現場の課題や可能性を再認識するとともに、管理栄養士・栄養士の社会的役割の重要性を改めて実感する機会となりました。また同時に、日本の栄養管理の実践とその成果を国際的に発信し、世界の栄養課題の解決に貢献していくことも、日本栄養士会に求められる重要な役割であると再認識いたしました。今後はこれらの経験を踏まえ、より実効性のある取り組みを推進してまいりたいと考えております。 私が最も重要と考えているのは、管理栄養士・栄養士一人ひとりの「個の力」、すなわち専門職としての技術と実践力の向上です。日本栄養士会が進める認定管理栄養士・認定栄養士制度、特別分野別認定制度、専門分野別認定制度で認定された管理栄養士・栄養士を目指す人材を増やすことは、職能の質を高める上で極めて重要です。個の力の底上げがなされてこそ、管理栄養士・栄養士の社会的評価の向上、報酬制度の見直し、さらには制度改革へとつながっていくものと考えます。 その基盤を担うのが養成機関の役割です。大学においては「栄養学」という学問と研究を教授することはもちろんのこと、管理栄養士・栄養士の使命と責任を明確に示し、生涯教育の理念と自己研鑽の重要性を学生の段階から徹底して伝える必要があります。養成教育と卒後教育を一体として捉え、「学び続ける専門職」を育成する視点がこれまで以上に求められていると考えます。 また、近年は管理栄養士を目指す若者の減少という課題にも直面しています。職業の魅力伝えるだけでなく、その社会的意義や専門性を正しく理解してもらう広報活動の強化が不可欠です。同時に、カリキュラムや臨床実習のあり方についても、実践力の育成という観点から大きな見直しが必要であると考えます。 さらに、栄養ケア・ステーションの認知度向上に向けては、実践活動の成果を積極的に発信していくことが重要です。実践報告や研究の蓄積は、地域における役割の可視化のみならず、医療・介護・地域包括ケアの中での位置づけを高めることにもつながります。自身の栄養活動を活動報告として文字媒体に残す能力は、この分野に特に求められる「個の力」と考えます。 個の力が向上すれば、組織や社会は自然とそれに呼応して変化していくものと信じています。管理栄養士・栄養士が自らの専門性に誇りを持ち、主体的に学び続ける環境を整えることが、職能全体の発展につながります。引き続き、現場と教育、そして学会・職能団体をつなぐ役割を果たしながら、日本栄養士会の発展に貢献してまいります。						

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	かとう すみこ	性別	女	
				氏名	加藤 すみ子	(満 63 歳)		
		名称	合名会社 愛しかない					
		勤務先	所在地	福島県いわき市平上荒川字桜町1-1				
			TEL	0246-84-5905				
	所属都道府県 栄養士会	福島県	栄養士会	会員 番号	0 0 7 0 1 5 2 6	所属職域	フリーランス・栄養関連企業等	
職歴・ 会員歴・ 役員歴・ 業績		【職歴】	1985～1987年 佐伯栄養専門学校 1987～1988年 中華料理店 楽陽 1988～1992年 石井脳神経外科・眼科病院 1992～1999年 三基商事株式会社 1999～2001年 森永乳業株式会社 2001～2009年 介護老人保健施設サンライフゆもと 2009～2013年 社会福祉法人 いわき福音協会 福島整肢療護園（重心・肢体） はまなす荘（障害者支援施設） つばさ（就労継続支援A型） 2013～2015年 NPO法人 布紗 2021～現在 社会福祉法人 ゴールデンハープ 2022～現在 社会福祉法人いわき福音協会シーズ 2024～現在 NPO法人 ままはーと ビリーむず かむ 2024～現在 合名会社 愛しかない設立					
		【会員歴】	1988～1993年 2000～現在					
		【役員歴】	（公社）日本栄養士会 2017年（福祉職域理事代理） 2018～2021年（福祉職域理事） 2022～現在（常任理事 栄養ケア・ステーション事業部長） （公社）福島県栄養士会 2012～2013年（理事） 2014～2017年（常務理事） 2022～現在（常務理事 副会長）					
		【業績】	2023年 日本栄養士会会長表彰					
		立候補の抱負	1）栄養ケア・ステーション事業の推進 2022年度より栄養ケア・ステーション事業部長を拝命し、都道府県栄養士会・ステーションとの連携をしながら、認定事業及び認定栄養ケア・ステーション責任者研修や栄養ケア・ステーション実態調査等の事業を行ってまいりました。 2024年度総会においては、代議員の皆様から栄養ケア・ステーションに対し多数のご意見やご要望を頂戴いたしました。新体制で課題整理を行い、優先すべき課題に対しての新たな戦略計画（3ヵ年）を策定し、都道府県栄養士会・ステーションへのアンケート調査やヒアリング等を進めてまいりました。2026年度は計画の最終段階となるため、引き続き栄養ケア・ステーション事業に取り組みさせていただきたく立候補を決意いたしました。 2）障害福祉サービスにおける実態形成 障害福祉サービスにおける栄養ケアの充実については、理事就任時より拘り続けており、対象となる障害（児）者はもちろん、そのご家族、そして就業する管理栄養士・栄養士に明るい光を灯したいという思いで、3度の報酬改定に関わってまいりました。 令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定では、様々な方々のお力添えのおかげで障害の通所系サービス（生活介護）にも栄養ケア・マネジメント体制が導入されましたが、実態形成はこれからです。 10人に1人は何らかの障害をお持ちの方がいる現代です。一人でも多くの管理栄養士・栄養士の皆様に障害分野に関心を持っていただき、障害分野における栄養ケア・マネジメントの実態形成にご協力いただけるよう尽力してまいりたいと思います。					

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	すなが まさひろ	性別	男	
				氏名	須永 将広	(満 49 歳)		
		名称	国立がん研究センター東病院					
		勤務先	所在地	千葉県柏市柏の葉6-5-1				
			TEL	04 - 7134 - 6909				
	所属都道府県 栄養士会	東京都	栄養士会	会員 番号	0 1 3 0 4 4 8 6	所属職域	医療	
職歴・ 会員歴・ 役員歴・ 業績		【職歴】	2001年4月国立病院入職（月国立松本病院、国立相模原病院、東京医療センター） 2006年～2010年3月 厚生労働省健康局生活習慣病対策室出向 2010年4月～2014年3月 国立がん研究センター中央病院主任栄養士 2014年4月～2023年3月 国立病院機構（横浜医療センター、渋川医療センター、災害医療センター） 2023年4月～2024年3月 厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室 室長補佐 2024年4月～ 国立がん研究センター東病院栄養管理室長 現在に至る					
		【会員歴】	会員歴17年（2010年～現在に至る）					
		【役員歴】	東京都栄養士会医療事業部企画運営委員（2016年度～2022年度まで） 東京都栄養士会理事（2014年度～2022年度） 日本栄養士会医療事業部企画運営委員（2018・2019年度） 日本栄養士会医療事業部医療職域副委員長（2020年度～2022年度） 日本栄養士会理事（2024・2025年度）					
		【業績】	救命救急病棟における早期栄養介入の現状と栄養食事指導の必要性の検証、日本病態栄養学会誌27(1)：83-90, 2024					
		立候補の抱負	これまで、15年以上医療機関で臨床・給食管理の経験と、また、行政機関にも出向し4年ほどの行政経験を通して得た知識や経験を、管理栄養士・栄養士の発展と国民の健康増進の向上に貢献できればと存じ、立候補させていただきました。 令和6・7年度では、栄養ケア・ステーション事業部副部長を拝命し、栄養ケア・ステーションの課題の解決のため、先駆的に取り組まれる都道府県にヒアリング調査を行い、促進要因の見える化し、これからの支援方策の検討を行うなどの取り組みを行ってきました。 引き続き、管理栄養士・栄養士の地位向上、各種制度におけるさらなる評価などに取り組んでまいりたく、理事に立候補させていただきましたので、何卒、よろしくお願い申し上げます。					

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな	しもうら よしゆき	性別	男	
		氏名	下浦 佳之			(満 67 歳)		
		名称	公益社団法人 日本栄養士会					
		勤務先	所在地 〒105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6F TEL 03 - 5425 - 6555					
	所属都道府県 栄養士会	兵庫県	栄養士会	会員 番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職域	フリーランス・栄養関連企業等	
職歴・ 業 績		【職歴】	1981年 兵庫県立光風病院 給食課 1990年 兵庫県立尼崎病院 給食課 主任 1994年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 主査 2000年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 2008年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 2009年 兵庫県立加古川医療センター 同 2012年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 2016年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同役職 2017年6月30日附 兵庫県職員退職					
		【会員・役員歴】 会員歴：1981年～現在（45年） 日本栄養士会役員歴： 日本栄養士会理事（理事10期 2006年～現在） 専務理事（2019年～現在） 常務理事（2014年～2019年）2017年7月より常勤 日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）総括（2012年～現在） 栄養ケア・ステーション推進・事業部長（2010年～2013年） 学術情報部長（2008年～2009年） 生涯学習検討会委員長（2006年～2007年） 兵庫県栄養士会役員歴： 兵庫県栄養士会 副会長（2012年～現在） 栄養ケア・ステーション委員長・生涯学習委員長他 兵庫県小児保健協会理事						
		【講師等】神戸学院大学客員教授 【学会等】 特定非営利活動法人 日本栄養改善学会理事 公益財団法人 国際医療技術財団 JIMTEF災害医療研修委員会委員 兵庫県小児保健協会理事	一 栄養を「支援」から「国家基盤政策」へ 「栄養の力で人びとの健康と幸せに貢献する」という本会の使命を、より確かなかたちで社会に実装していくため、これまで私は、栄養政策の強化、災害時の栄養支援体制の整備、そして専門職の社会的価値の向上に取り組んでまいりました。 いま、栄養の役割は大きな転換点にあります。超高齢社会の進展、頻発する自然災害、医療費の増大、さらには国際的な栄養政策の加速など、いずれの課題にも栄養は深く関わっています。 しかしながら現状では、その重要性が認識されている一方で、政策基盤や制度的裏付けはなお十分とは言えません。 「理念を政策へ、政策を社会実装へ」とつなぐ組織体制を、さらに強化してまいります。 第一に、科学的根拠に基づく政策提言機能を強化し、国および自治体との連携を一層推進します。 第二に、JDA-DATをはじめとする災害時の栄養支援体制を制度として確立し、非常時においても確実に栄養が届く仕組みを構築します。 第三に、管理栄養士・栄養士が政策形成に参画できる環境を整備し、社会に不可欠な専門職として評価される基盤を築きます。 栄養は「支援」にとどまるのではなく、社会を支える基盤です。 専門職の力を結集し、次の時代にふさわしい日本栄養士会を、ともに創り上げてまいります。 引き続き専務理事として、その責務を全うしてまいります所存です。 皆さまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。					

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 8	ふりがな	ふじもと ひろき	性別	男	
		氏名	藤本 浩毅			(満 46 歳)		
		名称	大阪公立大学医学部附属病院					
		勤務先	所在地 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7 TEL 06 - 6645 - 2871					
	所属都道府県 栄養士会	大阪府	栄養士会	会員 番号	0 2 7 1 0 1 5 1	所属職域	医療	
職歴・ 業 績		【職歴】	2004年4月～ 大阪市立（現：公立）大学医学部附属病院 2020年4月～ 大阪公立大学医学部附属病院 主査 2024年4月～ 現在 大阪公立大学医学部附属病院 保健副主幹					
		【会員歴】 2004年～現在 （公社）日本栄養士会・（公社）大阪府栄養士会 員 【役員歴】 2022年～現在 （公社）大阪府栄養士会理事	（公社）日本栄養士会理事に初めて立候補いたします。 （公社）大阪府栄養士会理事として4年の理事経験で十分な経験とは言えませんが、大学医学部附属病院の管理栄養士として22年間栄養・食事管理に携わってきました。 病院の管理栄養士・栄養士に求められる知識や能力は多岐にわたり、それらに相応した能力や人材が求められています。多忙で複雑で高度の業務を効率的に消化するために、少数の人員では医療管理上における栄養・食事管理の双方において患者様に十分な医療サービスが難しくなってきました。しかし、栄養・食事管理に関連する現状の診療報酬だけで得られる収益では人員増も限界がある状況と思われます。 特に、私は特定機能病院の管理栄養士として働く中で、管理栄養士・栄養士が医療職としておかれている環境を一層改善することが必要と考え、栄養士会活動で精一杯取り組んでいきたいと思っています。 また、管理栄養士・栄養士の業務の拡充だけでなく、今後人口が減少し高齢者割合が増加に対する栄養・食事管理や栄養不良の二重負荷の問題、高度化・複雑化する病態栄養管理などにどのように対応していくか職業倫理のあり方も視野に入れ、管理栄養士・栄養士として働き続けたいと思える専門職業人になるように栄養士会活動の中で少しでも貢献できればと思っていますので、よろしくお願いします。					
	【業績】 （学会役員） （公社）日本栄養士会「小児栄養分野管理栄養士・栄養士」 研修委員会委員・試験小委員会委員 （一社）日本臨床栄養協会 理事 （一社）日本動脈硬化学会 生活習慣病栄養部会委員 （一社）日本糖尿病学会 食事療法に関する委員会委員 （一社）日本先天代謝異常学会 将来計画委員会委員 （書籍） 糖尿病食事療法のための食品交換表第7版（日本糖尿病学会） カーボカウントの手びき（日本糖尿病学会） さらにかんたんカーボカウント、糖尿病患者トラブルシューティング AtoZ、医療的ケア児の栄養療法サポートブック 新 実践給食経営管理論（株・みらい）等 （論文、共著） Dietetic guidance for nutritional management of people with phenylketonuria receiving sepiapterin Molecular Genetics and Metabolism Volume 147, Issue 1, January 2026 等”							

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 9	ふりがな	もり しげお	性別	男	
		氏名	森 茂雄			(満 46 歳)		
		名称	JA愛知厚生連 豊田厚生病院					
		勤務先	所在地 愛知県豊田市浄水町一丁目58番地 1 TEL 0565 - 43 - 5000					
	所属都道府県 栄養士会	愛知県	栄養士会	会員番号	0 2 3 7 1 8 0 0	所属職域	医療	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】	2001年～2006年 社会医療法人 杏嶺会 上林記念病院 2006年～2007年 社会福祉法人 たんぽぽ福祉会 2007年～2009年 JA愛知厚生連 稲沢厚生病院(旧尾西病院) 居宅介護支援事業所 2009年～2020年 同院 栄養管理室異動 2020年～ JA愛知厚生連 豊田厚生病院 栄養管理室						
	【会員歴】	2002年～2004年、2012年～現在 計18年						
	【役員歴】	2019年～日本栄養治療学会(JSPEN) 学術評議員 2021年～日本在宅栄養管理学会評議員(学術・研究事業委員会) 2021年～2023年 人生の最終段階を含めた虚弱高齢者に対する食支援の在り方に関する研究 検討委員 2024年～肝疾患病態栄養専門管理栄養士合同委員会委員 2024年～愛知県栄養士会医療部会委員 2024年～日本栄養士会理事						
	【業績】	2014年 日本病態栄養学会病態栄養コンテスト最優秀賞 2015年 JSPEN JEFFスカラーシップ賞 2019年 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 感謝状表彰						
		2024年より日本栄養士会理事を拝命し、政策・職域推進事業部、情報コミュニケーション事業部、ならびに東海・北陸地区担当理事として活動してまいりました。 政策・職域推進事業部においては、各職域を横断した栄養士の活動支援に取り組むとともに、若手会員増加に向けたグループインタビューに参画いたしました。そこで得られた知見から、若手会員のニーズや期待は職域やキャリア段階によって多様であることが認識されました。今後は、その多様性に応じたきめ細やかな施策を展開し、実効性のある会員増対策の推進に努めてまいります。 情報コミュニケーション事業部では、「栄養の日・栄養週間」をはじめとする各種事業(健康づくり提唱のつどい、川柳・写真コンテスト等)に携わるとともに、全国栄養士大会オンラインの充実に取り組みました。その結果、2025年度には延べ13,000人の参加、総視聴数128,000回を超えるなど、会員の学びとつながりの機会を拡充することができました。今後は、デジタル技術を活用した情報発信の強化により、会員サービスのさらなる向上を図ってまいります。 また、東海・北陸地区担当理事として、各県栄養士会会長ならびに会員の皆様と連携し、地域ごとの課題共有と解決に向けた取り組みを進めてまいりました。加えて、地区会議の持続可能な運営体制の構築にも注力しております。今後は、地域の実情に応じた支援体制の強化に加え、各地域で実績を上げている取り組みを体系的に整理・共有し、他地域へ展開することで、全国的な質の向上に貢献してまいります。 日本栄養士会の強みは、多様な職域が連携することで生まれる「横のつながり」にあります。各分野において専門性を深化させると同時に、職域を越えて知見を共有し合うことで、「どの職域においても栄養士が価値を発揮できる体制」の構築が重要であると考えております。 今後は、①新人からベテランまでの成長段階に応じた人材育成とキャリア支援、②エビデンスに基づく栄養実践の推進と社会への発信強化、③多職種連携および政策提言機能の強化、の三点を柱に据え、会員一人ひとりが専門性とやりがいを持って活躍できる環境整備に尽力してまいります。 栄養の力で国民の健康と社会に貢献する専門職団体として、日本栄養士会のさらなる発展に寄与すべく、責任ある役割を果たしてまいります。						

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 10	ふりがな	むとう まき	性別	女	
		氏名	武藤 真紀			(満 60 歳)		
		名称	郡山女子大学					
		勤務先	所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号 TEL 024-932-4848					
	所属都道府県 栄養士会	福島県	栄養士会	会員番号	0 0 7 0 0 9 1 9	所属職域	研究教育	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】	1987年 東京都内病院 1990年 東京都内保育園 1991年 福島県 学校栄養職員 2008年 福島県県中教育事務所指導主事(栄養教諭) 2009年 福島県郡山市立行健第二小学校 栄養教諭 2011年 福島県本宮市本宮第二中学校 栄養教諭 2017年 福島県二本松市立安達中学校 栄養教諭 2024年 福島県二本松市立二本松南小学校 栄養教諭 2026年～郡山女子大学 講師						
	【会員歴】	・2015～2021 福島県栄養士会健康教育部理事 ・政策事業栄養教諭の配置促進のためのワーキンググループ委員(2023年度) ・ラオ日栄養改善プロジェクト検討チーム委員(2023～現在)						
	【役員歴】							
	【業績】	・2005 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会第2分科会発表 ・2019 スポーツ協会 公認スポーツ栄養士 ・2023 全国学校給食研究協議大会 シンポジウム パネリスト						
		2024年度より日本栄養士会の理事を拝命し、地域連携事業部に所属して都道府県会長の皆様とともに会員増加対策に取り組んでまいりました。 私はこれまで35年間、栄養教諭として勤務し、栄養教諭(管理栄養士・栄養士)が食に関する個別相談・指導体制を確立できるよう、健康教育部の研修会において講師やファシリテーターを積極的に務めてきました。児童生徒の健康課題の解決に向け、栄養教諭の専門性を活かしながら、学校全体で取り組む体制づくりに力を注いでまいりました。 今後も、栄養教諭が学校における指導の在り方や実践的な手法を身につけ、個別指導力をさらに高められるよう支援していきたいと考えております。 また、今年度より研究教育の職域に移りましたので、管理栄養士・栄養士の育成にも尽力し、養成校の学生に対して日本栄養士会という職能団体の意義を伝え、会員増加にもつなげていきたいと思っております。 そして、会員の皆様に「日本栄養士会に入っていて良かった」と感じていただけるよう、必要な時に必要な情報を確実に届けられる体制づくりを進めてまいります。これからも精一杯努めてまいります。						

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 11	ふりがな	よねやま くみこ	性別	女	
		氏名	米山 久美子			(満 49 歳)		
		名称	機能強化型認定栄養ケア・ステーションeatcoco					
		勤務先	所在地 東京都目黒区中目黒 TEL 090-3007-0935					
	所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会		会員番号	0 1 3 0 5 2 0 3	所属職種	フリーランス・栄養関連企業等	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】 2000年管理栄養士取得。2022年東京医療保健大学大学院修士課程(医療栄養学)修了。1997年～給食委託会社にて高齢者施設等の経験を経て、2001年～伊藤病院勤務。2006年～フリーランスとして活動し現在に至る。 2010年～現在 木下皮フ科地域栄養サポート自由が丘 2016年～現在 世田谷・杉並区総合事業訪問型サービス 2018年～現在 認定栄養ケア・ステーションeatcoco(2021年～機能強化型) 2021年～現在 江東区東砂福祉園(障がい者生活介護施設) 2022年～現在 慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師 2024年～現在 下馬あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 【会員歴】 2008年～2010年および2011年～会員 【役員歴】 2020年～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション委員会委員 2021年～日本栄養士会栄養ケア・ステーション事業部推進委員会委員 2022年～2023年 東京都栄養士会地域活動事業部運営委員 2024年～2026年 東京都栄養士会医療事業部運営委員 2024年～2026年 東京都栄養士会栄養ケア・ステーション事業部副部長 2024年～2026年 日本栄養士会栄養ケア・ステーション事業部理事 【業績】 無し							

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 12	ふりがな	とみたふみよ	性別	女	
		氏名	富田文代			(満 59 歳)		
		名称	滋賀県立淡海学園					
		勤務先	所在地 滋賀県甲賀市土山町大野283-20 TEL 0748 - 67 - 0149					
	所属都道府県 栄養士会	滋賀県 栄養士会		会員番号	0 2 5 0 0 4 5 5	所属職種	福祉	
職歴・会員歴・役員歴・業績	【職歴】 1992年～2013年3月 福祉型障害児入所施設滋賀県立近江学園 2013年4月～2017年3月 児童自立支援施設滋賀県立淡海学園 2017年4月～2020年3月 福祉型障害児入所施設滋賀県立近江学園 2020年4月～現在 児童自立支援施設滋賀県立淡海学園 【会員歴】 1993年～現在 日本栄養士会・滋賀県栄養士会 2022年～現在 日本栄養改善学会 2022年～現在 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 【役員歴】 2012年～現在 滋賀県栄養士会理事 2017年～現在 日本栄養士会福祉職域事業推進委員 2020年～現在 滋賀県栄養士会副会長 2024年～現在 日本栄養士会理事 【業績】 2021年7月 日本栄養士会会長表彰 2023年5月 滋賀県栄養士会会長表彰							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 13	ふりがな 氏 名	いまむら かよこ 今村 佳代子 (満 50 歳)	性別	女	
		名 称	鹿児島純心大学 看護栄養学部健康栄養学科					
		勤務先	所在地 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番 TEL 0996 - 23 - 5311					
		所属都道府県 栄養士会	鹿児島県	栄養士会	会員 番号	0 4 6 0 3 5 2 2	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績	【職歴】	このたび、理事に立候補させていただく機会を賜りましたことを、大変光栄に、また身の引き締まる思いで受け止めております。 これまで私は、鹿児島県栄養士会において理事を務め、県内におけるスポーツ栄養の普及啓発を目的とした活動や、管理栄養士・栄養士養成校の学生および卒業生が県栄養士会へ参加することを促進する取り組みを行ってまいりました。また、日本栄養士会においては、健康スポーツ栄養分野推進委員会委員として、公認スポーツ栄養士制度の運用や生涯教育に関する取り組みに携わり、会員の皆さまや関係者の方々から多くのことを学ばせていただきました。こうした経験を通じ、現場と組織、双方の視点から本会の役割と責任の重さを実感してまいりました。 近年、管理栄養士・栄養士養成校を取り巻く環境は大きく変化しています。高校生人口の減少により、養成校は学生募集に尽力せざるを得ない状況が続く一方で、全国的に管理栄養士・栄養士の資格取得を希望する高校生自体が減少していることが、深刻な課題として顕在化しています。この現状に直面する中で私は、「なぜ高校生は管理栄養士・栄養士になりたいと思わないのか」「私たちは自らの仕事の魅力や社会的意義を、次世代に十分伝えられているのか」という問いを、常に自分自身に投げかけてきました。 管理栄養士・栄養士は、医療、福祉、教育、スポーツ、産業など、多様な分野で人々の健康と暮らしを支える専門職です。しかし、その将来像やキャリアの広がり、専門性の価値が、若い世代に十分届いていない現実があるのではないかと感じています。今後は、現場で働く管理栄養士・栄養士一人ひとりが自らの仕事に誇りを持ち、その魅力と可能性を社会に、そして次代を担う若者に伝えていけるような取り組みが、より一層重要になると考えています。 また、資格取得後のキャリアアップや生涯にわたる学びの支援は、専門職団体である日本栄養士会の重要な使命の一つです。養成校を卒業した管理栄養士・栄養士が、それぞれのライフステージや職種に応じて成長し続けられる環境を整え、安心して専門性を高めていける仕組みづくりに貢献したいと考えています。 微力ではございますが、これまでの経験を生かし、現場の声に真摯に耳を傾けながら、管理栄養士・栄養士の未来を見据えた活動に尽力し、本会の発展に貢献できるよう努めてまいります。						
	【会員歴】	1998年～現在 日本栄養士会 1998年～2006年 東京都栄養士会 2006年～現在 鹿児島県栄養士会						
	【役員歴】	2020年～2026年 鹿児島県栄養士会 理事 2022年～2024年 日本栄養士会研究教育事業部推進委員 (九州地区代表)						
	【業績】	2022年～現在 日本栄養士会健康*~?栄養分野推進委員会委員 2022年～2024年 日本栄養士会生涯教育委員会委員 2022年～現在 日本栄養士会生涯教育認定管理栄養士・栄養士認定制度適格審査委員会委員						
業績	論文	18編	著書	5編	学会発表	63件	講演等	70件

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 14	ふりがな 氏 名	にしおか しんた 西岡 心大 (満 46 歳)	性別	男	
		名 称	長崎県立大学大学院地域創生研究科／看護栄養学部栄養健康学科					
		勤務先	所在地 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 TEL 095 - 813 - 5201					
		所属都道府県 栄養士会	長崎県	栄養士会	会員 番号	0 4 2 0 2 0 0 6	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績	【職歴】	病院管理栄養士として臨床、教育、管理に約20年従事し、2025年からは管理栄養士養成校に勤務し、未来を拓く管理栄養士の育成に努めるとともに、臨床・教育・研究・政策をつなぐハブとなる研究室運営を目指して活動している。 2022年より本会理事、人材育成事業部副部長、学術研究部担当、国際交流担当として、人材育成事業（生涯教育制度、専門管理栄養士制度、TNT-D等）、学術研究事業（就業実態調査等）、国際事業（アジア栄養士フォーラム運営委員等）、慢性腎臓病食事療法基準改訂事業、腎臓病栄養指導士事業等に従事した。 診療報酬・介護報酬における栄養関連項目の拡充、行政分野における管理栄養士雇用数の増加に象徴されるように、栄養士・管理栄養士が社会から求められる役割はますます拡大している。このような中で、管理栄養士としてのプレゼンスを維持・向上するためには質の担保が重要である。理事として選任していただいた際には、引き続き栄養士・管理栄養士による栄養の指導に関わる知識・技術の涵養や、国際活動への貢献に努める。これらを通じ、国民から信頼される栄養士・管理栄養士であり続けるため、社会的地位やプレゼンスの向上に尽力したい。また、エビデンスに基づく政策立案が推進される中、医療・介護などあらゆる分野において正しい根拠に基づく栄養ケアプロセスの実践が求められる。これを踏まえて、人材育成および国際領域において、栄養士・管理栄養士の知識・技術の標準化及び向上に寄与し、会員の皆様が、安心して、自信を持って各領域で活躍できるように支援するとともに、本会の永続的発展に貢献したい。						
	【会員歴】	2006年～現在 日本栄養士会 理事、人材育成事業部副部長						
	【役員歴】	2022年～現在 日本栄養士会 理事、人材育成事業部副部長						
	【業績】	2017年 日本病態栄養学会 清野裕貴 2018年 日本静脈経腸栄養学会 フェローシップ賞 2019年 日本栄養士会 84 selection 2021, 2023年 Best Reviewer Award 2020/2022, Geriatrics & Gerontology International 2021年 Poster Presentation Award, the 2nd World Dysphagia Summit 2022年 Excellent Poster Award, ACD2022 2025年 日本病態栄養学会 若手研究会会長賞 2024年～現在 回復期リハビリテーション病棟協会 理事、栄養委員長 2025年～現在 日本栄養治療学会 理事 2025年～現在 日本リハビリテーション栄養学会 監事 2025年～現在 European Society for Clinical Nutrition and Metabolism (ESPEN) Early career faculty 2025年～現在 Clinical Nutrition ESPEN Associate Editor						

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 15	ふりがな	あべ きぬこ	性別	女	
		氏名	阿部 絹子			(満 66 歳)		
		名称	公益社団法人 日本栄養士会					
		勤務先	所在地	東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階				
		TEL	03-5425-6555					
	所属都道府県 栄養士会	群馬県	栄養士会	会員番号	0 1 0 0 0 7 4 5	所属職域	フリーランス・栄養関連企業等	
職歴	【職歴】 1983年4月 群馬県職員 (入庁) ～平成3年3月 沼田保健所・中之条保健所 衛生環境部 保健予防課・健康長寿課 1991年4月～1997年3月 利根保健所・渋川保健所 教育委員会保健体育課 2002年4月～2006年3月 渋川保健福祉事務所 食品安全局衛生食品課 2006年4月～2009年3月 食品安全局衛生食品課 2009年4月～2010年3月 食品安全局衛生食品課 2010年4月～2014年3月 健康福祉部保健予防課 2014年4月～2020年3月 利根沼田保健福祉事務所 公益社団法人日本栄養士会 2020年4月～現在							
立候補の抱負	2022年6月に本会の常務理事に就任し、37年間の行政栄養士として培った知識、本会の職域理事担当理事、一般理事、そして、群馬県栄養士会理事としての経験を活かして職務に尽力してきました。 しかし、社会環境の変化や人びとのニーズの高度化により管理栄養士・栄養士に求められる役割は拡大し、その業務内容も専門性・実践力・連携力を要するものへと変化しており、さらに管理栄養士・栄養士が行う栄養関連事業の充実強化を図ることが必要となっています。また、社会的な地位や評価等には、今に課題が多く、管理栄養士・栄養士全体として担っている業務の内容や責任の重さに比べて、処遇面で十分な評価がなされていません。 そのため、常任理事としてのこの4年間では、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定における要望書の作成、また、厚生労働省をはじめ各府庁および自由民主党政策懇談会、栄養士議員連盟等への要望活動に各職域理事とともに尽力してきました。 これらの活動は、一度で完結するものではなく、継続して成果が得られるまで着実に推進することが益々重要となっています。 の 東京栄養サミット2021の本会のコミットメントを実現するために国際活動にも積極的に取り組んできました。昨年度は大阪関西万博におけるアジア栄養士フォーラムの開催、47都道府県の未来に残すべき和食の作成には企画から中心となって取り組みました。また、ラオス国を対象とした「ラオス栄養改善プロジェクト」では、3年にわたる多様な関係者との協議・検討、現地調査を経て、昨年12月にMOU締結を果たし、本年5月から本格的な支援活動がスタートしますが、この活動の責任者としての役割を担っています。 抱 さらに、日本栄養士会としての重要課題である会員増対策の強化には全国の都道府県栄養士会との連携・協働が不可欠であり、諮問会議をはじめ各地区会長会議での協議・意見交換等を積極的に行い、実効性のある対策が重要であると考えています。 負 このようなことから、本会の執行部の果たす役割は多様となっており、今後も執行部の一員として十分に力を発揮していく所存です。 4年間の常務理事としての実績を活かし、本会の執行部に課せられている役割を果たすために尽力、貢献したく、常務理事に立候補いたします。							
会員歴	【会員歴】 1983年4月～現在 日本栄養士会会員							
役員歴	【役員歴】 1998年6月～2000年5月 群馬県行政栄養士協議会幹事 2000年6月～2010年5月 同上 副会長 群馬県栄養士会渋川支部支部長 群馬県栄養士会理事(学術部長) 群馬県栄養士会公衆衛生事業部長 2008年6月～2020年5月 日本栄養士会行政協議会幹事 2010年6月～2012年8月 日本栄養士会公衆衛生事業部 2012年8月～2014年6月 企画運営委員 2014年7月～2020年5月 日本栄養士会公衆衛生事業推進委員会委員長 日本栄養士会職域理事(公衆衛生担当理事) 2020年6月～現在 日本栄養士会一般理事 2021年7月～現在 日本栄養士会常務理事							
業績	【業績】							

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 16	ふりがな	なかむら ていじ	性別	男	
		氏名	中村 丁次			(満 77 歳)		
		名称	神奈川県立保健福祉大学 名誉学長・客員研究員					
		勤務先	所在地	神奈川県横須賀市平成町1-10-1				
		TEL	046 - 828 - 2500					
	所属都道府県 栄養士会	神奈川県	栄養士会	会員番号	0 1 4 0 0 7 5 1	所属職域	研究教育	
職歴	【職歴】 1972年～1975年 新宿医院 1975年～1987年 聖マリアンナ医科大学病院 1987年～1999年 聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 1999年～2003年 聖マリアンナ医科大学病院 2003年～2023年 神奈川県立保健福祉大学 2023年～現在 神奈川県立保健福祉大学名誉学長・客員研究員							
立候補の抱負	最初に、日本栄養士会会長への立候補を決心したのは2004年であった。2000年法改正が実施され、「免許」を前提に本格的な管理栄養士制度が開始された矢先であった。教育、養成、さらに業務は、人間栄養学を基盤とした内容に変革され、業務は「給食の栄養管理」から人間の栄養・健康状態を改善させる「人の栄養管理」へと変わり始めた。 栄養教育、特定保健指導、医療・介護保険における栄養食事指導・管理、さらにNST、リハビリテーション栄養、急性期・周術期の栄養管理、そして病棟配置と目まぐるしい変化が起こり、管理栄養士の保健、医療、福祉における役割や社会的使命は、大きく変革された。各都道府県栄養士会、日本栄養士会の役員や事務局の努力の賜物である。 一方、栄養を取り巻く社会の変化は、我々が想像した以上に早く、深化、拡大している。少子・高齢社会、経済の格差と不安定、気候変動、新型感染症、食料危機、国際的緊張関係の増大と戦争への恐怖等、何が起こっても不思議ではない時代に突入しつつある。 このような多重リスク社会の中において、栄養界には、人々により寄り添った個別化栄養管理・指導と在宅・地域包括ケアの推進、ITやロボットの活用、専門性の向上と総合化の発展、産学官連携による実証研究の進展、新たな価値を創出するイノベーションの創造、栄養の倫理と人権、管理栄養士・栄養士の業務の拡大と処遇改善、栄養ケア・ステーションと実践栄養の戦略的進展、さらに会員増対策、組織改革、生涯教育等、課題も山積している。困難な課題は多いが、解決できない問題はない。そして、その先には、栄養の力により人々を健康で、幸せにできる無限の可能性がある。 今後、最先端科学技術の進歩により、従来の栄養素の枠を超えた新たな成分や各種の食品が発見、開発され、食品や調理の加工度は益々増大し、簡便にエネルギーや有効成分を適正に摂取できる社会が到来する。しかし、私達は、時代がどのように変化しても、人間にとって「本物の食品や食事」とは何かを問い続け、普及、啓発し、人々を先導する役割があり、このことができるのが管理栄養士・栄養士である。 大日本栄養士会が誕生して約80年。今一度、現在の執行体制と日本栄養士会を発展させるために、今回、再び会長として立候補することを決心した。多くの人々から信頼され、尊敬され、愛される日本栄養士会を目指し、全ての仲間が結集して次の輝かしい100周年を迎えられるように努力することを誓う。							
会員歴	【会員歴】 1975年4月～現在 (通算51年)							
役員歴	【役員歴】 1992年6月～2012年6月および2018年6月～現在 (通算28年) うち2004年6月～2012年6月 会長、2018年6月～現在 代表理事会長							
業績	【業績】 卒業後、病院栄養士として、病院給食の改善、栄養相談室の設置、管理栄養士の臨床領域への進出等に尽力した。特に2000年法改正の際、21世紀における管理栄養士の具体的な姿を提言し、栄養アセスメントや栄養管理の意義・具体的方法を示し、普及活動に努めた。国の栄養に関する各種委員会の委員を担い、厚生労働省「日本人の長寿を支える『健康な食事』のあり方に関する検討会」では座長を務め、「食育基本法」や「保健指導」さらに「臨床栄養管理」等の設立に尽力した。 2003年より神奈川県立保健福祉大学教員として管理栄養士養成や研究に取り組んだ。2011年からは学長として高齢社会が必要とする地域・多職種連携、保健医療福祉の包括化に対応できる人材育成を目指した大学運営を行い、管理栄養士・栄養士が果たす役割の重要性を社会に示した。 2008年「第15回国際栄養士会議」では組織委員長として国内外から高い評価を受け、翌年観光庁より表彰された。2021年「東京栄養サミット」のハイレベルセッションで世界の栄養不良の撲滅に貢献するコミットメントを発表した。2022年「第8回アジア栄養士会議」では組織委員長、2025年大阪・関西万博会場での「アジア栄養士フォーラム」ではアジア栄養士連盟会長として、開催に尽力。日本の栄養士制度や栄養政策の成果を「Japan Nutrition」として国内外に発信している。令和7年春の叙勲にて瑞宝中級章受章。							

◎ 一般 理事 候補者		届出番号	※ 17	ふりがな	みやじま いさお	性別	男
				氏名	宮島 功		(満 44 歳)
		名称	社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部				
		勤務先	所在地	高知県高知市大川筋1丁目1-16			
		TEL	088 - 822 - 5231				
	所属都道府県 栄養士会	高知県	栄養士会	会員 番号	1 0 0 1 2 7 6 7	所属職域	医療
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績	【職歴】	2022年度より高知県栄養士会理事を拝命し、2023年度からは医療事業部長とし活動してまいりました。また、日本栄養士会理事として1期の経験を積む中で、地域における課題のみならず、栄養士会全体の構造や日本栄養士会の担うべき責務について理解を深めてまいりました。					
	2007年4月～2009年3月	済生会横浜市東部病院					
	2009年4月～現在	近森病院					
	2020年4月～現在	近森病院 臨床栄養部部長					
	【会員歴】	2018年8月 日本栄養士会・高知県栄養士会 入会					
	【役員歴】	2022年～現在 高知県栄養士会 理事					
		2023年～現在 高知県栄養士会 医療事業部長					
		2024年～現在 日本栄養士会 理事					
	【業績】	なし					
	抱負	これらの経験を踏まえ、今後は日本栄養士会理事として、これまでの活動をさらに発展させるとともに、医療領域を中心とした管理栄養士・栄養士の専門性の確立と社会的地位の向上に貢献してまいりたいと考えております。具体的には、専門管理栄養士の育成支援、会員増対策の強化、診療報酬・介護報酬改定への的確な対応に資する企画および情報発信を推進してまいります。					
		また、日本栄養士会のミッションである「誰一人取り残さない栄養政策」の実現に向け、管理栄養士・栄養士の使命と責務を自覚し、医療・地域・行政との連携を強化しながら、健康・栄養課題の解決に寄与してまいります。					
		これまでの経験を基盤に、より広い視点から日本栄養士会活動の発展に貢献できるよう、引き続き尽力してまいります。					

◎ 一般 理事 選任決議分野候補者		届出番号	※ 18	ふりがな	しゅぎょう さやか	性別	女
				氏名	修行 さやか		(満 40 歳)
		名称	株式会社 ジョエル				
		勤務先	所在地	福岡県福岡市中央区大手門3-1-17 リリーフ大手門1F			
		TEL	080 - 5623 - 4816				
	所属都道府県 栄養士会	福岡県	栄養士会	会員 番号	1 0 0 0 8 1 8 6	所属職域	福祉
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績	【職歴】	介護老人保健施設の管理栄養士として、入所者の栄養管理を栄養ケア・マネジメントを通して、在宅復帰支援に携わってきました。その中で、地域ケア会議への参加や介護予防教室等を通して、地域との繋がりを持ってきました。診療報酬や介護報酬から見てもわかるように、施設入所中の栄養管理で完結するのではなく、医療と介護そして在宅の相互連携を踏まえた視点を持った栄養管理が望まれています。					
	2008年～2017年	社会福祉法人 あすか福祉会					
	2017年～2026年	医療法人福弘会 介護老人保健施設 湯の里まとは					
	2026年4月～ 現職						
	【会員歴】	2017年～現在 日本栄養士会・福岡県栄養士会会員					
	【役員歴】	2020年～2022年 福岡県栄養士会福祉事業部企画運営委員					
		2022年～ 福岡県栄養士会 理事（福祉事業部長）					
		2024年～ 日本栄養士会 福祉職域事業推進委員					
		2024年～ 福岡県栄養士会 副会長					
	【業績】	2025年 栄養改善奨励賞受賞					
	抱負	これまで、福岡県栄養士会 理事として、栄養ケアステーションの体制整備や研修会の立案、実施等を通して、地域に参画できる管理栄養士の育成に努めて参りました。また、2024年度からは介護保険施設及び通所サービス事業所等における実態調査に関するワーキンググループの委員として、介護保険施設及び通所サービス事業所の実態調査を行いました。そこで見えた課題を踏まえ、介護保険施設における栄養関連加算の算定率増加や管理栄養士の質の担保を目指し、積極的に研修会の講師を行ってきました。社会の変化とともに、管理栄養士が活躍できるフィールドは確実に広がっていると思います。こうした可能性を、より多くの管理栄養士に知ってもらいたいと、様々な活動を行う中で感じるようになり、この度立候補の機会をいただきました。これまでの実績を活かし、医療と介護、在宅における連携の更なる推進と管理栄養士・栄養士が地域に積極的に参画できるよう体制作り尽力したいと思います。					

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	もちづき ひとみ	性別	女	
		氏名	茂呂（望月） ひとみ			(満 58 歳)		
		名称	株式会社グリーンハウス					
		勤務先	所在地	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー17F				
		TEL	03 - 3379 - 1211					
		所属都道府県 栄養士会	東京都	栄養士会	会員番号	2 0 0 0 0 1 7 7 所属職域 フリーランス・栄養関連企業等		
職歴・ 会員歴・ 役員歴・ 業績		【職歴】	1990年～現在 株式会社グリーンハウス 1990年～1995年・事業所給食管理栄養士 1995年～1996年・ウエルネススーパーバイザー（リーダー栄養士） 1996年～2008年・エリアマネージャー 2008年～2018年・営業部長 2019年～2022年・栄養健康事業部 理事 2022年～現在 健康経営推進室 部長 2024年～現在 管理栄養士高度化研究室 室長（健康経営推進室との兼務） 2022年～現在 認定栄養ケア・ステーション グリーンハウス 責任者					
		【会員歴】	2019年～2026年					
		【役員歴】	2024年～2025年 日本栄養士会理事					
		【業績】	2022年～2023年 東京都栄養士会において幹事として事業部に属し栄養士大会等の企画・運営に参画し、勤労者支援事業部においては運営委員として研修企画及び運営を担当 2024年～2025年 新しく立ち上がったフリーランス・栄養関連企業等職域理事として、					
			フリーランス・栄養関連企業等職域の発足より2年経ち、『誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、自然に健康になれる食環境づくりを推進し、国民の健康保持増進、健康寿命の延伸に寄与する』をあるべき姿と考え、この2年間、それぞれの分野ごとの活動状況を把握し、今後の活躍の場をどう広げていくことが出来るかを試行錯誤しながら検討してまいりました。 主な活動としては、全国研修会の開催や実務研修を通じて、情報提供や事例共有の場を設けました。アンケート結果に基づき、2年目はブラッシュアップして開催することもできました。 2024年度から始まった「健康日本21（第三次）」では、国民の健康づくりを社会全体で推進する方向性が示されました。フードシステム（食物の生産、加工、流通、販売）に関わる方が多く所属しているフリーランス・栄養関連企業等職域では互いに各所属の活動を共有、理解、連携し、誰もが地域で健康な食事にアクセスできる食環境づくりを推進するための連携体制を構築していきたいと思えます。また健康日本21（第3次）の目標の一つとして、保険者等と連携し健康経営に取り組む企業を十萬社に拡大することが掲げられています。健康づくりの場として職域が持つ意義は大きく、企業における栄養・食生活の取り組みが、健康寿命の延伸にも直結するとも考えています。特に中小企業での健康支援にはフリーランスの方を中心にますます需要増となることもふまえ、今後、この領域での管理栄養士・栄養士の活躍の場はますます増えていくのではないかと考えています。 この他にも医療、学校教育、福祉、公衆衛生、研究教育の他職域と連携して業務に従事している方がいることも多いことも特徴の一つであり、他職域との連携強化も、フリーランス・栄養関連企業等に属している管理栄養士・栄養士が新しい活躍の場を構築するためには、必須と考えております。 上記もふまえ、管理栄養士・栄養士の専門性が社会で適切に発揮され、活躍できる環境づくりに貢献したいと考え、再度立候補いたしました。 皆さまのお力添えをいただきながら、より良くしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。					

◎ 職域理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	もと いえ れいこ	性別	女	
		氏名	元家 玲子			(満 59 歳)		
		名称	介護老人保健施設希望の館					
		勤務先	所在地	愛媛県東温市則之内甲2783-1				
		TEL	089 - 960 - 6336					
		所属都道府県 栄養士会	愛媛県	栄養士会	会員番号	0 3 8 0 1 1 4 9 所属職域 福祉		
職歴・ 会員歴・ 役員歴・ 業績		【職歴】	1989年4月～1991年3月 医療法人雙立会碩心館病院 1991年5月～1992年7月 株式会社森乳クリニコ 1992年8月～1999年3月 国立病院機構愛媛病院 2000年7月～2003年12月 有限会社ヘルシープラネット 2004年1月～2009年3月 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター 2009年4月～現在 介護老人保健施設希望の館					
		【会員歴】	1989年～1991年 徳島県栄養士会会員 1991年～現在 愛媛県栄養士会会員					
		【役員歴】	愛媛県栄養士会役員歴： 2019年～現在 愛媛県栄養士会理事（7年） 2023年～現在 愛媛県栄養士会副会長（3年） 日本栄養士会役員歴： 2020年～現在 日本栄養士会福祉職域事業推進委員会委員（6年） 2022年～現在 日本栄養士会福祉職域担当理事（4年） 2024年～現在 日本栄養士会常任理事（2年）					
		【業績】	2014年 愛媛県栄養士会会長表彰 2016年 日本栄養士会会長表彰					
			2020年より福祉職域事業推進委員会委員として、令和3年度介護報酬改定、令和6年度トリプル改定に携わってきました。制度づくりの現場に関わる中で、管理栄養士への期待が確実に高まっていることを実感しています。 その期待に応えるために、研修制度をさらに充実させ、学び続けられる仕組みを整え、専門性を発揮できる基盤を築き、多職種が連携しながら、管理栄養士・栄養士が正當に評価され、活躍できる体制を推進します。 福祉の3分野については、次のように取り組んでまいります。 1. 介護分野では、介護保険制度の目指す高齢者の「尊厳の保持」と「自立支援」が達成できるように、エビデンスに基づいて実践します。 2. 障害分野では、個々人に対応した栄養ケア・マネジメントの充実を促進します。 3. 児童分野では、保育所等への管理栄養士・栄養士の配置促進に継続して取り組みます。専門職が誇りを持って働ける環境が整うことこそが、子どもの健やかな成長につながるかと考えています。 これら3つの分野を支えるために、医療-介護-在宅-障害の各領域をシームレスにつなぎ、障害の有無にかかわらず、利用者・住民がストレスなく暮らせる社会を目指します。 福祉分野は1人職場が多く、悩みや不安を抱えやすい現場です。だからこそ、会員同士がつながり、互いに支え合える組織を築いていきます。 少子化・高齢化が進み、地域差も広がる中で、子どもを守り育て、最期までその人らしく生きられるウェルビーイングな社会を目指します。全国の管理栄養士・栄養士が輝くことが、日本の明るい未来につながると信じています。皆さまとともに、その実現に向けて歩んでまいります。					

◎職域理事選任決議分野候補者		届出番号	※3	ふりがな	こばやし とおる	性別	男
		氏名		氏名	小林 道		(満 46 歳)
		勤務先	名称	酪農学園大学	所在地	北海道江別市文京台緑町582番地	
			TEL	011-388-4728	所属都道府県	北海道	栄養士会
職歴・会員歴・役員歴・業績		所属都道府県栄養士会	北海道	栄養士会	会員番号	00110183	所属職域
							研究教育
		【職歴】	1998年4月～2001年7月 日立建機株式会社 中型開発事業部 設計技術員 2006年4月～2015年3月 防衛省 陸上自衛隊 技官（栄養担当官） 2015年4月～現在 酪農学園大学 農食環境学群（現職名：教授）				
		【会員歴】	2006年6月入会（会員歴20年）				
立候補の抱負		【役員歴】	2018年6月～現在 日本栄養士会 研究教育職域事業推進委員会 委員 同 副委員長（2020年6月～2024年6月） 同 委員長（2024年6月～現在） 2024年6月～現在 日本栄養士会 理事（研究教育担当、情報コミュニケーション事業部副部長、学術研究事業部、ラオ日栄養改善PJ栄養士養成検討チーム）				
		【業績】	・博士（医学） ・査読付き論文：34報（筆頭著者：22報） ・書籍等出版物：4件 ・その他論文・報告書等：8報 ・学会発表：49報				
		【職歴】	2002年04月～2004年08月 JA群馬県経済連 食料課勤務 2004年09月～2010年11月 医療法人 群馬循環器病院 栄養管理室勤務 2010年12月～現在 社会福祉法人 恩賜財団 群馬県済生会前橋病院 栄養科勤務				
		【会員歴】	2002年04月～入会（日本栄養士会・群馬県栄養士会） 2011年08月～2014年03月 日本栄養士会 プランニングマネージャー 2012年08月～2014年03月 群馬県栄養士会・栄養ケア・ステーション コーディネーター				
立候補の抱負		【役員歴】	2014年04月～2018年03月 群馬県栄養士会 医療事業部 副部長 2018年04月～現在 群馬県栄養士会 医療事業部 顧問 2016年04月～2020年03月 日本栄養士会 医療事業部企画運営委員（常任・副幹事） 2020年04月～2024年03月 日本栄養士会 医療事業推進委員（常任・副委員長・主幹事） 2024年04月～現在 日本栄養士会 医療事業推進委員（常任・委員長）				
		【業績】	論文『医療栄養情報提供書発行の有用性について』を執筆し、平成30年度、令和2年度診療報酬改定において中央社会保険医療協議会資料に引用され、退院時共同指導料2の拡充、栄養情報提供加算の新設につながった				
		【職歴】	2016年度より日本栄養士会医療事業部企画運営委員会（現 医療事業推進委員会）常任委員を拝命し、2020年度より副委員長、そして2024年度より委員長を拝命しました。診療報酬改定を5回経験し、2回の医療・介護同時改定も経験させていただいたことで、医療-介護-地域（在宅）における同職種間連携及び多職種連携の重要性を感じております。				
		【職歴】	医療職での経験を活かし、財務の視点においては、令和3年度診療報酬改定項目に対し、積極的な実施を促し算定率の向上に努めます。医療の質の視点においては、エビデンスを構築するため、実践的な事例を収集し活用できればと思います。会員の視点においては、顔の見える理事をモットーに、各地区での情報交換、意見交換などを活発に行います。業務のプロセスの視点においては、運営業務の優先順位を決め、効率的な取り組みを行っていきます。人材教育の視点においては、認定管理栄養士、専門管理栄養士の推進に努め、活躍できる環境の実現に努めます。				

◎職域理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	もろおか あゆみ	性別	女	
		氏名	諸岡 歩					(満 54 歳)
		名称	兵庫県保健医療部健康増進課					
		勤務先	所在地 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-341-7711 (内73802)					
	所属都道府県 栄養士会	兵庫県		栄養士会	会員 番号	0 2 8 0 3 0 9 2	所属職域	公衆衛生
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績		【職歴】	1994年4月～ 兵庫県入庁 2017年4月～ 兵庫県保健医療部健康増進課 保健・栄養指導班長 2023年4月～ 兵庫県企画部計画課交流推進班長 2025年4月～ 兵庫県伊丹健康福祉事務所副所長兼健康管理課長 2026年4月～ 兵庫県保健医療部健康増進課 歯科・食支援専門官					
		【会員歴】	1994年～現在 兵庫県栄養士会会員 (32年)					
		【役員歴】 (兵庫県栄養士会)	2008年～2009年 東播磨地域委員 2014年～2017年 理事 2020年～現在 監事					
		【日本栄養士会】	2016年～2017年 公衆衛生事業部委員 2018年～2019年 公衆衛生事業推進委員会副委員長 2020年～現在 公衆衛生事業推進委員会委員長 日本栄養士会理事 (公衆衛生職域) 2022年～2023年 日本栄養士会総務部部長 〃 災害対策事業部担当理事 〃 栄養ケア・ステーション事業部担当理事 2024年～2025年 日本栄養士会政策・職域推進部長 〃 災害対策事業部副部長					
		令和6年度(2024年度)より健康日本21(第3次)がスタートしました。「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化を図るためには、保健・医療・介護・福祉など各領域の管理栄養士・栄養士による相互連携や他職種連携の強化、地域ネットワークの構築など、「点」ではなく「面」での取り組みが重要です。 私は日本栄養士会公衆衛生職域理事として、 ①専門職業人としての倫理のもとに、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、行政栄養士の仕事の1つ1つが、国・都道府県・市町村でどう結び付き機能していくのかを明確にし、多部署・多領域の関係者に働きかけ、横断的かつ戦略的に栄養改善政策を推進できる行政栄養士(公衆衛生専門管理栄養士)を継続的に育成し、自治体内で評価される仕組みづくりに尽力します。 ②成果の見える栄養施策を推進するため、多分野・多領域との連携を強化し、地域の身近な栄養相談拠点である栄養ケア・ステーションと行政が連携した活動を加速させます。 ③多発する自然災害発生時などの有事においても、専門職業人として担うべき役割を適切に果たせるよう、自治体や関係団体との連携を密にしながら、組織体制の整備と人材育成(JDA-DATリーダー研修の充実等)など平時の準備を徹底します。 ④会員増対策(特に若年層)に向け、若手同士の交流と先輩の体験談が聞ける“つながり”の機会を創出するため、新たに「行政栄養士交流Webサロン」を開催します。 人との出会いを大切に、活動の先には住民の健やかで幸せな生活があることを信じて、様々な角度からの柔軟な発想、情報の収集と発信、住民や関係者、仲間との連携と協働など、不断の行動と、目の前の取り組みを一步踏み出す勇氣を持ち続け、誠意を持って職務に精進する所存です。 どうぞよろしくお願いいたします。						

◎職域理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	しげた れいこ	性別	女	
		氏名	重田 玲子					(満 45 歳)
		名称	豊田市立豊田特別支援学校					
		勤務先	所在地 愛知県豊田市大清水町原山66 TEL 0565-44-1151					
	所属都道府県 栄養士会	愛知県		栄養士会	会員 番号	0 2 3 0 0 4 8 4	所属職域	学校健康教育
職 歴 ・ 会 員 歴 ・ 役 員 歴 ・ 業 績		【職歴】	・2001年4月～2008年3月 豊田市立竹村小学校 学校栄養職員 ・2008年4月～2015年3月 豊田市立前山小学校 学校栄養職員 ・2015年4月～2020年3月 豊田市立平井小学校 学校栄養職員 (2016年4月～ 栄養教諭) ・2020年4月～2023年3月 豊田市立加納小学校 栄養教諭 ・2023年4月～ 豊田市立豊田特別支援学校 栄養教諭					
		【会員歴】	・2001年4月～ 日本栄養士会・愛知県栄養士会 入会					
		【役員歴】	・2019年10月～ 愛知県栄養士会スポーツ栄養委員 ・2024年6月～ 日本栄養士会学校健康教育職域 事業推進委員					
		【業績】	・2019年10月 公認スポーツ栄養士を取得 ・2021年1月 日本栄養士会雑誌「トップランナーたちの視点」掲載 ・2022年度～ 栄養士生涯学習等講師 (茨城県、栃木県、富山県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、岡山県) ・2023年度～2025年度 文部科学省委託事業「食に関する健康課題対策支援事業」委員・アドバイザー (主催：文部科学省) ・2024年 全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 シンポジスト (主催：各県教育委員会) ・2024年度～ 栄養教諭等研修会講師 (岐阜県、奈良県、福井県) (主催：各県教育委員会) ・2025年度 独立行政法人国際協力機構(JICA) 研修講師(12か国)、研修教育協力ウィーク2025パネリスト					
		私はこれまで、愛知県栄養士会スポーツ栄養委員としてスポーツ栄養の普及や地域の健康づくりに携わり、また日本栄養士会学校健康教育職域事業推進委員として全国事業の推進に取り組んできました。現場と組織の双方に関わる中で、学校における栄養教育の価値をより広く社会へ届けたいという思いが強まり、このたび立候補しました。 学校は、子どもたちの健康を長期的に支える重要なフィールドです。 私は、学校健康教育職域が国民の健康増進、栄養専門職の社会的役割の発展といった目的を達成できるよう、現場と組織をつなぐ役割を果たしたいと考えています。 そのために、学校健康教育職域理事として、会員の実践を「見える化」し、共有・継承できる仕組みをつくりたいと考えています。 栄養教諭等の実践は、多様でありながら大きな価値をもっています。しかし、属人的に留まりやすく、共有や継承の仕組みが十分とは言えません。 私は、会員のみなさまの実践が埋もれないよう、次の取り組みを進めたいと考えます。 ①実践のアーカイブ化と検索しやすい整理 校種・テーマ別の共有会や研修の体系化、若手や新任が参加しやすい学びの場の整備を通して、会員の知が全国で循環し、誰もが学び合える環境をつくります。 ②会員が相談しやすい「つながり」と「支え合い」の仕組みづくり 学校現場では、栄養教諭等は校内に一人しかいない職種であるため、個人の力量に左右されやすい働き方になりがちで、相談場所を求める人も多くいます。 私は、会員が安心して職務に取り組むことができるよう、テーマ別・校種別のオンライン交流で実践の悩みを共有できるピアサポートの場、多職種連携の成功事例の紹介など、仲間とつながり、支え合えるコミュニティづくりを進めます。 ③多職種・地域連携を強化し、会員の実践を後押しする スポーツ栄養委員としての経験から、学校と地域・医療・スポーツ現場が連携することで、子どもたちの健康支援がより豊かになることを実感してきました。 今後は、地域資源と学校をつなぐ情報提供、他職種との協働事例の共有、会員が連携しやすい仕組みづくりを進め、会員の実践が全国に広がる後押しをします。 学校健康教育職域は、子どもたちの未来を支える重要な領域です。 私は、現場の声に丁寧に耳を傾け、会員のみなさまが安心して学び合い、実践を広げられる環境づくりに努め、すべての子どもに届く食育を会員とともに推進します。						